

株式会社ホテルゆのくに環境行動計画

平成 23 年 6 月 28 日

取 組 方 針

ゆのくに天祥は、開湯 1,300 年を超える歴史・文化の深い山代温泉の地に存し、第 35 回「プロが選ぶ日本のホテル・旅館 100 選」総合 10 選 14 位に入選、2009 年度「人気温泉ホテル 250 選」に認定されるなど、同エリア内でも最も利用客数の多い温泉旅館となっています。

当旅館の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら活動していくことを目指していきます。このため、私たちは、当旅館の事業活動が環境に及ぼす影響を最小限にとどめるために、以下の取組を従業員一丸となって推進します。

- ① 省エネルギーを進め、二酸化炭素排出量を抑制します
- ② 廃棄物の削減とリサイクルを進めます。
- ③ 節水に努め、水の適正利用を心掛けます。
- ④ 環境保全の取組みを推進します。

この方針に基づいて従業員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全従業員に周知します。

平成 23 年 6 月 28 日

株式会社ホテルゆのくに

代表取締役社長 新滝 徳次

3 環境負荷の低減目標

平成 25 年度に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも平成 22 年度です。)

【目標 1】 二酸化炭素の総排出量を 2%削減する



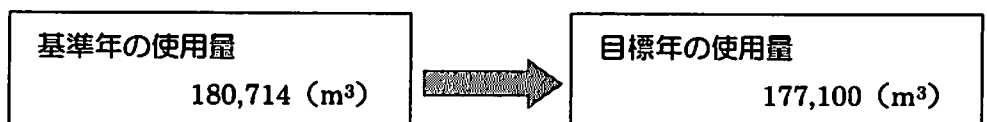
【目標 2】 廃棄物についてはデータの把握とともに適正管理と排出量の削減をする

当面は廃棄物の分別を徹底し、資源の有効活用とリサイクルの推進に努め、将来的には目標の数値化を図る

【目標 3】 コピー用紙の使用量を 1%削減する



【目標 4】 水使用量を 2%削減する



4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組 1】 二酸化炭素排出量の削減

(館内での活動)

- 空調の設定温度を適正に管理する(冷房温度 28 度、暖房温度 20 度を目安とする)
- 空調機器、厨房機器のフィルターを定期的に清掃する
- エアコンを使用しない期間は、動力ブレーカーを切る
- 空調・換気の運転時間を見直す
- パソコン・コピー機などの OA 機器の電源 OFF を徹底する
- OA 機器の節電機能を活用する
- 不要箇所、不要時間帯の消灯を徹底する
- 客室の清掃時には自然採光を取り入れ、消灯・減灯する
- 宴会場の準備・片付けの際は、一般照明のみ点灯する
- 料飲施設等の閉店時にはエアコン、照明等の電源を切る

(厨房に関する取組)

- 厨房設備(調理器、食器洗浄機等)の管理をマニュアル化する

（ボイラー、受電・変電設備に関する取組）

- ボイラー、冷温水発生器の運転に台数制御を取り入れる
- 冷却水ポンプにインバータを導入する
- 自動制御設備をチェックし、再調整する
- デマンドを管理・適正化する
- 個別空調やセントラル空調の温度や稼働設定を管理基準を設け、オペレーションの改善を実施する

（車両の使用に関する取組）

- エコドライブを徹底する
- 車両の点検を定期的に行う

【取組2】 廃棄物についてはデータの把握とともに適正管理と排出量の削減をする

（館内・事務所で取組）

- 廃棄物の削減とリサイクル率向上を図るため、一般廃棄物及び産業廃棄物の分別処理に努める
- ファイル、フォルダーなどは繰り返し使用する
- 購入した物品は丁寧に扱い、可能な限り長期間使用する
- 両面コピーと裏紙利用を徹底する

（商品の仕入れ・販売に関する取組）

- 仕入れ・納入にはできるだけ通い箱を使用する
- 使用済みの段ボール、梱包材、荷造りひもを分別する

【取組3】 コピー用紙使用量の削減

- 両面印刷、両面コピーを徹底する
- 使用済み用紙の裏面を利用する
- 書類、資料の電子データ化を進める

【取組4】 水使用量の削減

（館内での取組）

- 節水こまを設置する
- 節水型シャワーヘッド、自動止水栓を導入する
- 水道配管からの漏水を定期的に点検する

（厨房に関する取組）

- 食器は、事前に食べ残し等を取り除いてから洗浄する

5 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画に基づき環境保全活動を効果的に実施するため、総務部長（環境管理責任者）を委員長とする環境推進委員会を設け、全従業員が「具体的な取組」を実施します。

実施体制図<案>

